

9月16日(水) 本年度第11回(通算 第2792回)

「ライラセミナー報告会」

担当/理事会・青少年委員会 12時30分～釧路プリンスホテル

◆お客様と来訪ロータリアン

小林 貢様(終身会員)、松山 澄也君、中島 裕君(以上2名 釧路北 RAC)

◆メーカーキャップ

◆出席報告【会員総数 72 名 免除 6 名 出席計算に用いた会員数 72 名】

本日の出席率 出席者 39 名 メーカーキャップ 0 名 出席率 54.2%

前々回の修正出席率 出席者 47 名 メーカーキャップ 0 名 出席率 65%

◆ニコニコ献金(今年度累計 164,000円)

- ・いい天気になりましたね ～佐渡 正幸君
- ・中島君、松山君よろしくお願ひ致します ～中島谷 友一朗君
- ・結婚記念日のお花ありがとうございます ～小野寺 英夫君、中嶋 嘉昭君
- ・歓迎会ありがとうございました。佐渡会長、二次会ごちそうさまでした ～香川 謹吾君
- ・無事、事務所開きを終わりました。ありがとうございます ～川村 真一君
- ・本日司会です。よろしくお願ひ致します ～工藤 健司君
- ・真ちゃん、事務所開きおめでとうございます ～坂入 信行君
- ・お陰様で3年たちました。ありがとうございます ～本間 弘人君
- ・先日の歓迎会ありがとうございました ～水野 光輝君
- ・誕生日です ～吉田 茂樹君

◆会長挨拶

《佐渡会長》



皆さんこんにちは、本日も例会にお越し頂きまして誠にありがとうございます。

今日は本当に清々しい天気です、この9月、10月と言うのは、この北海道にとっては良い日が続く季節です。正に実りの秋と言う事で、皆様も色々な活動の中で十分にこの秋を満喫して頂ければと思います。

ロータリーにおいても、9月24日に今回初めての試みになると思いますが、アカデミー研修塾を開催します。新入会員並びに3年未満の若い会員に、ロータリーのいろはから、そして北川理事、坂入委員長の下で、財団そして米山と言う部分の研修を深めて頂く事になっており、この研修は学びの秋と言う事で、しっかりと学んで頂きたいと思ひます。

そして、9月27日は、待ちに待った野遊会です。今年は浜中の方で地引網を行うと言う事で、家族総出で、ロータリーを楽しみ、そして美味しい物を食べて、しっかりと体も肥えると言う事で、こちらは実りの秋を満喫して頂き、心も身体もしっかりと寒い冬に備えて、身体の準備をして頂きたいと思ひます。

先日、第35回ライラセミナーが行われました。今年はローターアクトから、中島君、松山君にご出席を頂いた中で、今日はその報告会となっております。ライラセミナーはロー

タリーの事業の中でも、非常に継続的で有意義な事業であると認識しております。正に、青少年を育成して行き、そしてその青少年からリーダーシップを持った、指導者たる人間を養成していくと言う事業においては、ロータリーに欠かせない事業であり、これからもこの事業を継続していかねばならないと言う責務がこのロータリーには有るのだと思っております。その部分につきましても、しっかりと今日学んだ中で、我々は釧路北ローターアクトクラブを提唱しているクラブでございますので、新たに青少年育成と言う部分について活動を深めて頂く機会となればと思っておりますので、どうぞ一日よろしく申し上げます。

◆ 幹事報告

《中島谷幹事》



パーソナルボックスへ1点

- ・「ロータリーの友」電子版についてのチラシ

回覧として3点

1. 釧路北 RAC より 10 月例会日程変更の件。
2. 釧路北 RAC より 10 月 3 日親睦ボウリング例会のご案内。
3. 広報誌として「ハイライトよねやま」

報告として4点

- ・第3回会長幹事会にて音別 RC 様より本年度から釧路北 RAC への支援を決定した連絡がありました。また、音別 RC 様の紹介で新入会員も1名入会しています。
- ・9月8日に皆様のお手元に山岸弘典様の「新会員推薦書」が届いたかと思いますが、資料の不備（記載漏れ）があり、再度のご案内をさせていただきます。

昨日 15 日の理事会にて承認を頂きましたので、明日には山岸弘典様の「新会員推薦書」を発送いたします。皆様におかれましては再度のご承認を頂くこととなりますことをお詫びいたします。

- ・9月24日（木）18：30~釧路プリンスホテルで開催されます「アカデミー研修塾」のご案内を先日させていただいています。第一回目は「ロータリーの基礎知識」と「米山・財団」に重点を置き進行いたします。対象の3年目未満の会員はもちろんですが、それ以外の会員の皆様にもご参加いただきたくお願い致します。

当日は、活動計画書をご持参下さいませようお願い致します。

- ・来週 23 日は定款第 6 条 1 節により休会となっております。次の例会は 9 月 27 日（日）8：30~たかはし薬局（柳町）駐車場となっておりますので、お間違えないようお願いいたします。

「 ライラセミナー報告会 」

鈴木青少年委員長



皆さんこんにちは、青少年委員会委員長の鈴木です。

本日はライラセミナー報告会と言う事で進めさせていただきます。

今回のセミナーは、美瑛の白金温泉を行われました。当クラブからは会長・幹事・私と青少年といたしましては、株式会社ウィンドヒルの松山君と中島君にご参加いただきました。私は開会式で帰ってきましたが、場所としては山の中で逃げられないような所でしたので、研修を行う場所としては良かったのではと思います。

進行としましては、始めに中嶋パスト会長より、ライラセミナーの意義・目的などをお話し頂き、その後にご参加された、松山君、中島君の報告とさせていただきます。

中嶋パスト会長



青少年委員長や、理事の方が居る中、私に講和の依頼があったのは、現在、当クラブも若い会員が多いと言うことで、多分に「ライラへの認識が薄いのではないか」という思いで、かつて地区のライラの委員長を仰せつかった関係で指名があったのだと理解してお話しをさせていただきます。

ライラというのは日本語で訳すと「ロータリー青少年指導者育成プログラム」という意味になります。英語では「ロータリー・ユース・リーダーシップ・アワード」その頭文字である「R/Y/L/A」を「ライラ」と読んでおります。これはロータリーの第5の奉仕部門である青少年プログラムの一つであります。また国際ロータリーとしては、当クラブでも推奨しています、ローターアクトクラブ、あるいはインターアクト、ロータリー青少年交換などの一つであります。

ライラの歴史は1959年にオーストラリアで生まれまして、徐々に世界に広がって、1971年に国際ロータリーの公式行事として採用されております。日本では1976年から、事業・セミナーが始まりまして、この2500地区においては1980年に旭川で第1回が開催されたのが第1回であります。先ほど会長が仰っていた様に本年、35回目の開催となっております。途中、1年開催されない年がありました。それはライラセミナーをやり続ける事が普通であろうと思っていましたが、見直そうというガバナーがおられて、地区内のクラブの方々にアンケートを実施し、その結果をみて検討することとし、その年は開催されませんでした。しかし、やはり思いは一つでライラセミナーというのは毎年開催されるべきだという結果が出まして現在も続いております。

このライラは年齢的には14歳から30歳までの若者に参加をいただくという対象にしておりますが、この2500地区は18歳から30歳の若者を対象にして実施されております。また開催地ですが、今年は白金温泉で、この地区は大きく4つの地区に分かれますが、道北・オホーツク・十勝・釧根とこの4地区を毎年上手に回しているなと思います。ただ、このローテーションは確立をされているわけではありません。固定化を考えたこともありますが、やはり、それぞれの分区で開催された方が良いのではないかとありました。

ライラの目的・目標であります。ここが一番大事なところで、一つ目は、「ロータリーが青少年を尊重し、関心を抱いていることを一層明確にする」要するに青年にアピールする場面を作ろうということ。それと「実地訓練を体験させ、有能な指導者となるよう、激励・支援する」それから「青少年への絶え

ざる継続的な力強い支援を奨励する」4つ目が「地域社会に尽くしている青少年の優れた資質を公に表彰する」というこの4つの目標、これが全てであろうと思います。ということで、ライラの重要なことは「リーダーシップを身につけさせる」ということでもありますし、それを以って青少年を育てようということでもあります。これは若者にとって自己啓発の大変大きなチャンスであります。先ほど言ったように、自然に恵まれた場所で、異なった職業・異なった地域の若者たちと共同生活をしながら心を開きあって、対話し、討論することによって、職場での資質・市民としての資質、責任感を芽生えさせることがねらいであります。研修の経験を積ませることによって、若い人たちが指導者としての経験とスキルや人格を養いながら、奉仕や高い道徳的基準、平和といったロータリーの価値観を学ぶ機会を提供することを目的としております。ロータリアンにとっては、新世代の若い人たちの多様なニーズを認識しつつ、よりよき未来をもたらす、生活力を高めるために、新世代の未来へ準備させること、健康・教育・自己開発への興味を支援するプログラムに着手するよう奨励されております。そういうことが根底にありまして、その先には、参加してくれた若者たちが行く行くは、ロータリアンとなってもらえることが、その先にありますので、ここでしっかりとロータリーのことを学んでいただいて、ロータリアンとして育てていただきたいという先がありますので、是非、中島さんと松山さん、将来お待ちしております。

